

【第47号】 令和4年11月発行
白河地域在宅医療拠点センター通信



【発行者】一般社団法人 白河医師会
白河地域在宅医療拠点センター
副センター長 杉原 常夫

福島県白河市大手町 3-8 レジデンス楽市 I 105
TEL : 0248-21-8923 FAX : 0248-21-9267
E-mail : sma@sound.ocn.ne.jp

医療・介護多職種連携研修会開催報告

テーマ：「ケアタウン小平クリニック と その多職種チームによる在宅緩和ケア」

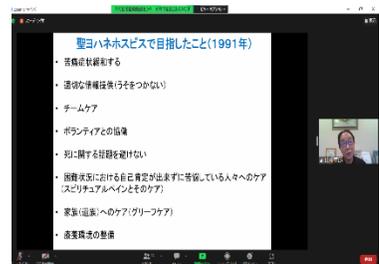
講師：医療法人社団悠翔会 ケアタウン小平クリニック 名誉院長 山崎 章郎 氏

令和4年9月24日（土）白河産業プラザ人材育成センター 2F 講堂において、オンラインによる「医療・介護多職種連携研修会」が開催されました。

当日は感染拡大防止のためハイブリット形式での開催となり、会場9名・Zoom14名計23名の方にご参加いただきました。また後日、都合により参加できなかった向けに事前に希望されていた52名の方にYouTubeでの動画配信も行いました。

《参加者の声》

- ・山崎先生がおっしゃるところの、患者の物語考えるというくだりが印象的でした。
- ・途中からの参加ですが、普段聴けない内容でした。ありがとうございます。
- ・山崎先生のお話がとても具体的で勉強になりました。 質疑応答では特にリアルなお話がお聞き出来て、課題がある部分も隠さずにお話ししていただき、有難かったです。
- ・とても良いご意見を拝聴でき、勉強になりました。
- ・大変貴重なご講演をありがとうございました。緩和、という少し尻込みする部分がありますが、今後自己研鑽に努め、白河地区の在宅緩和ケアに少しでもお役立てるようになりたいと思いました。
- ・山崎先生の活動や先生の看取りについての考え方にとても感銘を受けました。
「死」の話題を避けずに、一緒に語ることができる関わり、声掛けはとても大切なことだと感じました。自分の実践で活かしていきたいと思いました。
- ・地域とのつながりが大切であり、講義内容は分かりやすかったです。



□ ■ □ 出前講座開催報告 □ ■ □

9月

開催日	開催場所	内容・講師	
9/5 (月)	新白河ライフパーク	「腰痛・膝の痛み・足の痛みのエクササイズ」	会田病院 リハビリテーション科
9/7 (水)	あったかセンター南湖	「みんなのリハビリ体操」	風岡 都 先生
9/8 (木)	川原田コミュニティセンター	「歌体操」	菊地 幸 先生
9/13 (火)	にここサロン堂山	「みんなのリハビリ体操」	風岡 都 先生
9/14 (水)	ほのぼのサロンピャッコイ	「笑いの健康教室」	白幡 文子 先生
9/14 (水)	あったかセンター城東	「笑いの健康教室」	大沼 敏江 先生
9/21 (水)	あったかサロン童里夢	「歌体操」	菊地 幸 先生
9/22 (木)	あったかセンター関辺	「歌体操」	菊地 幸 先生
9/27 (火)	のんびりサロン女石	「歌体操」	菊地 幸 先生
9/28 (水)	追原コミュニティセンター	「笑いの健康教室」	大沼 敏江 先生
9/29 (木)	鶴生公民館	「笑いの健康教室」	大沼 敏江 先生



10月

開催日	開催場所	内容・講師	
10/5 (水)	あったかセンター芳賀須内	「みんなのリハビリ体操」	風岡 都 先生
10/5 (水)	山下公民館 (西郷村)	「元気に生きる！」	関 元行 先生
10/6 (木)	いきいきサロン板倉	「高齢者と薬 ～薬の疑問にお答えします」	杉原 常夫 先生
10/11 (火)	あったかセンター新白河	「笑いの健康教室」	大沼 敏江 先生
10/12 (水)	あったかセンター城東	「高齢者と薬 ～薬は使い方ひとつで毒にもなる～」	三科 龍平 先生
10/13 (木)	あったかセンターマイタウン	「腰痛・膝の痛み・足の痛みのエクササイズ」	会田病院 リハビリテーション科
10/18 (火)	なかよしサロン北真舟	「歌体操」	菊地 幸 先生
10/19 (水)	あったかセンター舟田サロン	「人には聞けないおしこの悩み」	穂積 彰一 先生
10/25 (火)	のんびりサロン女石	「人には聞けないおしこの悩み」	穂積 彰一 先生
10/27 (木)	あったかセンターひだまり	「歌体操」	菊地 幸 先生
10/28 (金)	いきいきサロン緑ヶ丘	「高齢者と薬 ～薬は使い方ひとつで毒にもなる～」	三科 龍平 先生

介護職員研修会開催報告

- 開催日：10月18日（火）白河産業プラザ人材育成センター
- 講師：一般社団法人福島県介護福祉士会 橋本 好博 氏
- テーマ：「ユマニチュード」について
アプローチの技法から ～移乗・移動の実技～

当日は15名の方に参加いただき、その場で行える実技も交えながら研修会が進められました。

《研修内容一部抜粋》

“ユマニチュード”とは、フランスの2人の体育学の専門家が開発した介護の技法で、人は「立つ」ことによって、そのらしさ、つまりその尊厳を自覚している様子から、4つの要素の「見る」「話す」「触れる」「立つ」を介護の4つの柱と命名される。

“5つのステップ”

- ①出合いの準備（自分の来訪を告げ、相手の領域に入って良いと許可を得る。）
- ②ケアの準備（ケアを行うことの合意を得る）
- ③知覚の連結（いわゆるケア）
- ④感情の固定（ケアの後で共により時間を過ごしたことを振り返る）
- ⑤再開の約束（次回のケアを受け入れてもらうための準備）

【参加者の声】

- ・利用者さんとのちょっとした関わり合いの大切さを感じた。
- ・普段の支援の中で何気なく行っていることを、きちんと整理することでより分かりやすくなった。
- ・目を見ること、“立つ”ことについて改めて考える機会になった。



患者力で人生を生き切ろう！

～いま、あなたに届けたい、そしてあなたと語りたい～

お知らせ

チラシ・ポスター・しらかわ広報等で順次ご案内しておりますと
おり、「市民講演会 2022」を開催致します。まだ席に若干の余裕
がございます。参加ご希望の方は下記までお問い合わせ下さい。
尚、定員になり次第、締め切りとさせていただきますのでご了承
ください。

- 期日：11月30日（水）
- 時間：午後2時～午後4時（開場 午後1時30分）
- 会場：新白信ビル3F イベントホール

【申込・お問い合わせ先】

白河地域在宅医療拠点センター TEL：0248-21-8923

(参考)ホームページ閲覧時のユーザー名：ishikai パスワード：xxx18